

石垣市文化財ガイドマップ

「石垣市文化財ガイドマップ」
令和8年7月発行

編集：石垣市教育委員会文化財・市史編集課

発行：石垣市教育委員会

〒907-8501 沖縄県石垣市字真栄里 672

TEL：0980-83-7269・FAX：0980-82-0294

http：www.city.ishigaki.okinawa.jp

文化財見学にあたってのお願い

文化財の中には、個人所有のものや非公開のものもあるため、事前にご確認ください。
また、次のことに心がけて、気持ちよく文化財見学をお楽しみください。

- 建造物などの文化財に許可なく手を触れたり、動かしたりしない。落書きなど絶対しない。
- 天然記念物に指定されている植物や動物などを持ち出さない。
- 文化財のある場所での火気使用は絶対にしない。

国 国指定 県 県指定 市 市指定
国登録 国登録

とくやまけじゅうたくおもや・ふりやー・いど・いしがき
国登録 渡久山家住宅主屋・フリヤー・井戸・石垣
登録有形文化財(建造物)



大正14(1925)年に建てられた木造平屋建の瓦葺きの住宅。一般的な住宅より軒を高くして涼風を取り入れる工夫や、一番座と二番座の間の真ん中の柱をなくし、一・二番座をより広く使用するための独特な設計がなされている。屋敷内には、他に明治中期に建てられたと思われる石造のフリヤー(便所兼豚小屋)や井戸も残っている。

■個人住宅につき敷地外からの見学のみのみ
■駐車場：無

みやとりおん
市 宮島御嶽
有形民俗文化財



石垣四カ村発祥の伝承をもつ御嶽。石城山に住んでいたナアタハツ、ピサガーカワラ、マタネシスの3兄弟が御嶽として拝み始めると豊作に恵まれたので、次第に人々が多く集まり住むようになり、登野城・石垣村に発展していったと伝えられている。石垣の豊年祭をはじめ年中祭祀の場となっている。なお、イビ域内には県指定天然記念物のリュウキュウシヤノキも自生している。

■駐車場：無

いしがきていえん
国 石垣氏庭園
名勝



1800年頃、大浜間切頭職の7世長演の時に作庭されたと伝えられている。琉球石灰岩を主な材料とし、5つの岩山を北から南へと低く築き、それらを石段や石橋でつなぎ、枯滝を落とす、四の薬山と五の薬山は岩島風を作っている。庭園の背後にはフクギやソテツを植え込み、日本庭園の伝統様式を踏まえつつも地方色豊かで独特の趣を見せている。

■個人住宅内につき非公開
■駐車場：無

とうりんじにおうぞう
県 桃林寺仁王像
有形文化財(彫刻)



桃林寺山門の左右に立つ仁王像。1737年に作られたもので、現存するものでは沖縄県内最古の仁王像である。地元産のオガタモノキを用いた寄木造りで、地元の久手堅に屋敷忠、川平正尚、小浜当明の作によるものである。1771年の明和と津波で仁王像は流されたが、連良崎海岸に漂着したものを後年修復したと伝えられている。

■駐車場：有(桃林寺)

ごんげんどう
国 権現堂
重要文化財(建造物)



1611年、薩摩藩が八重山の検地を行った際、社寺が一つもなかったとして、国王尚寧に社寺を建てるよう進言し、1614年に隣接する桃林寺とともに建てられた。八重山における社寺建立のはじまりで、祭神は熊野権現。御神体の銅鐘は県内最古の鋳造(1772年)と言われる。1771年の明和と津波で流されたが、1786年に再建され、その後も数度の修復がなされた。沖縄県内で唯一の近世社寺建築として貴重な建物である。

■駐車場：有(桃林寺)

きゅうみやらどうぐんち・みやらどうぐんちえん
国 旧宮良殿内・宮良殿内庭園
重要文化財(建造物)・名勝



1819年、宮良間切頭職の宮良堂演の時に建てられたもので、首里の上級土族の屋敷構えを模したといわれる。当時は階級による建築制限があり、頭職の屋敷構えとしてはふさわしくないとして数度の建替えを命じられ、明治8(1875)年には茅葺きに改められたが、明治33(1900)年には瓦葺きに戻している。屋敷敷地には琉球石灰岩で築かれた日本庭園様式の庭園があり、名勝に指定されている。首里の土族屋敷が戦災により失われたなか、旧宮良殿内は当時の土族階級の屋敷構えを伝える貴重な建物である。

■観覧時間 9:00~17:00(火曜日・年末年始休)
■観覧料 大人200円 子供100円
■問い合わせ先 0980-83-7269(石垣市教育委員会)

いしがきりつやえやまはくづつかん
市 石垣市立八重山博物館
国 八重山蔵元絵師画稿類(宮良安宣旧蔵)
重要文化財(歴史資料)



昭和47(1972)年に建てられた博物館で、八重山の歴史や民俗に関する資料を多く所蔵、展示している。国指定文化財「蔵元絵師画稿類」、県指定文化財「石垣四箇村旗頭本」、市指定文化財「崎枝赤崎貝塚出土開元通宝」「唐人墓碑」「風水指南針」等を展示公開、また、県指定文化財「紙本着色東任鐘画像」や市指定文化財「マユンガナシの面」等、貴重な資料も多数所蔵している。

■観覧時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)(月曜・祝日・年末年始休)
■観覧料 大人200円 学生(中学生以上)100円 小学生以下無料
■問い合わせ先 0980-82-4712(八重山博物館)

やえやまくらくとしがこうい(みやらあんせんきゅうぞう)
国 八重山蔵元絵師画稿類(宮良安宣旧蔵)
重要文化財(歴史資料)



本画稿は、近世末期から明治中期に八重山蔵元の絵師が描いた花鳥図や風俗図など90点の作品群である。重要無形文化財「型絵染」保持者・鎌倉芳太郎氏が明治12(1923)年に石垣島で、最後の蔵元絵師・宮良安宣から譲り受けた。安宣が絵師時代(明治24~30年)の作品を中心に、叔父の喜友名安信らの画稿も含まれる。蔵元絵師は織物図案の写しや地図作成、漂着船の記録など幅広い役割を担い、風俗画も制作した。これらの画稿は当時の八重山や琉球の社会・民俗を示す貴重な歴史資料となっている。

■問い合わせ先 0980-82-4712(八重山博物館)

ゆむつんがー
市 世持井戸
史跡



井戸の形態は、湧水を直接汲む「降り井戸」から釣瓶を使う「廻り抜き井戸」へと発展するが、石垣島で廻り抜き井戸が廻り始められたのは1694年頃と考えられている。世持井戸は、それから60余年後の1757年頃に掘られたが、17.2mの深さを有し、本市の掘り抜き井戸の中では屈指の深さを測る。この井戸は大川村創建期に整備されたが、その功績で松茂氏當儀(初代村役人)が王府から賞された記録が残る。

■駐車場：無

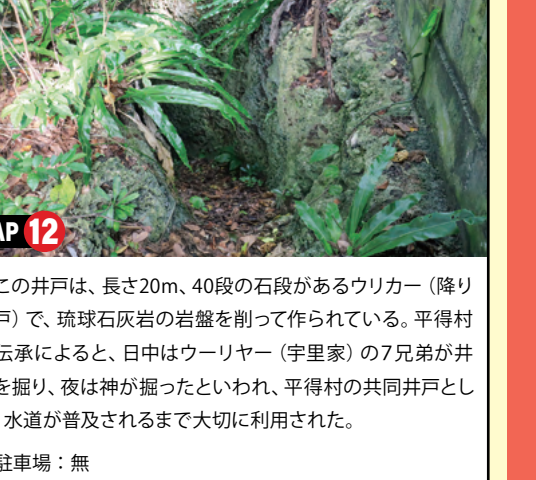
みさきおん
県 美崎御嶽
有形文化財(建造物) 史跡



1500年のオヤケアカハチ事件に創建由来をもつ御嶽。オヤケアカハチは養育を絶って首里王府に反旗を翻したが、王府軍によって滅ばされた。美崎御嶽は、王府軍の沖縄本島への無事帰還を祈願した女性マイツバが籠った場所とされている。眉石の中央に火炎宝珠をのせた石門は、規模は小さいが首里の園比屋武御殿石門に似ているとされる。

■駐車場：無

ばいなーカー
市 バイナーカー
史跡



この井戸は、長さ20m、40段の石段があるウリカー(降り井戸)で、琉球石灰岩の岩盤を削って作られている。平得村の伝承によると、日中はウーリヤー(芋里家)の7兄弟が井戸を掘り、夜は神が掘ったといわれ、平得村の共同井戸として、水道が普及されるまで大切に利用された。

■駐車場：無

なかどうのさんばんこう
市 仲道の三番アコウ
史跡



樹齢200~250年と推定されるオオバコアコウの巨木で、登野城から平得、真栄里への道路の分岐点にあり、古くから地域の人々の道標、憩いの場として親しまれてきた。かつては登野城の東はずれの道路の分岐点に一番アコウ、さらに東100mの分岐点に二番アコウがあったとされる。傍らに八重山を代表する歌謡歌トッパラマの歌碑がある。

■駐車場：無

ひらえあらすくむらいせき
県 平得アラスク村遺跡
史跡



平得の村落移動の変遷に関わる15~16世紀の遺跡で、野面積みの石垣やウリカー(降り井戸)が残っている。地元では「ブスヌヤー」(武士の家)と呼ばれ、発掘調査によって中国製陶磁器や地元産の土器が出土している。遺跡の大部分は園地整備で破壊されたが、中心部は破壊をまぬがれ保存されている。

■駐車場：無

きゅうわうけけか
国 旧和宇農家墓
重要文化財(建造物)



和宇農家は、長田大主の流れを引く長栄姓武士名家の分家である。墓の築造年代は17世紀後半を降らないと考えられる。1684年に本家が他所に墓を造営したため、分家である和宇農家が譲り受け大正年間まで使用していた。内部の石棺には宮良間切の頭が葬られていたという。本墓は源初的な洞穴墓から発展した形式であるが、寄棟形の屋根等独特な意匠を持つ。また、一人の被葬者のために築かれたものと想定できる点など、墓制史上きわめて貴重である。

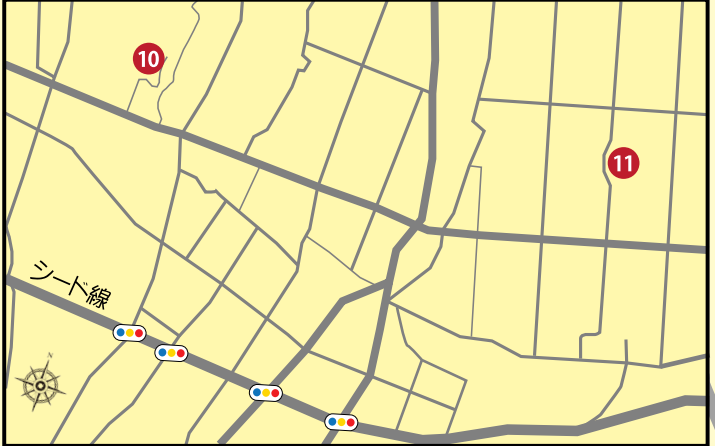
■駐車場：無

くぼんとおん
市 小波御嶽
有形民俗文化財



八重山にはじめて稲作を伝えたタルファイ、マルファイ兄妹は安南(現在のベトナム)のアレンシという所から来訪したといわれ、この御嶽は兄妹の住居跡と伝えられている。字登野城の豊年祭や種子取祭等の農耕儀礼は、この御嶽や米為御嶽を中心に執り行われている。

■駐車場：無



いやなすおん
市 米為御嶽
有形民俗文化財



この御嶽は、八重山にはじめて安南(現在のベトナム)から稲作を伝えたといわれるタルファイ、マルファイ兄妹のうち、マルファイの墓と伝えられている。のちに登野城村の人々が崇拜し御嶽として信仰されるようになったといわれる。タルファイの墓も同じように崇拝され、大石垣御嶽として大川村の人々に信仰されている。

■駐車場：無

きゅうとのしるじんじょうこうとうしょうのほうあんてん
市 旧登野城尋常高等小学校的の奉安殿
有形文化財(歴史資料)



奉安殿とは戦前、天皇・皇后両陛下の御真影(写真)と教育勅語を安置していた施設で、登野城小学校敷地内にある奉安殿は、昭和6(1931)年に建てられた。鉄筋コンクリート造で、内部には御真影を安置する棚が残っている。屋根上正面に天皇家の菊花紋章のレリーフが見える。校舎の新築にともない、当初あった場所からは移されているが、学校内に現存するものとして全国的にも珍しく貴重なものである。

■駐車場：無